

県内大学生のための就職セミナー・県内企業との交流イベント 開催・運営業務委託

企画提案に係る質問への回答票

産業人材確保・移住促進課

番号	該当項目	質問内容	回答
1	各セミナーおよび交流イベントの開催日時について	平日 or 土日、日中 or 夕方以降など、条件はありますでしょうか？ 時間は自由に提案者側で提案可能でしょうか？	特に条件はございません。 参加者（学生・企業）が参加しやすい日程・時間をご提案ください。
2	仕様書 4（1） 就職セミナーの開催及び運営	①イの実施回数・時期は「11月頃、2月頃を想定」とされていますが、実施月の変更は可能でしょうか。	想定月以外での実施は可能です。 大学の試験時期と重ならないなど、参加者が参加しやすい時期を考慮しご提案ください。
3	仕様書 4（2） 県内企業との交流イベントの開催及び運営	①bイに大学3校の名称が記載されていますが、本事業の実施については、既に各大学へご説明済みでしょうか。 また、企画提案書の提出までの間に、各大学へ事前に連絡を行い、開催場所や開催時期等について調整を行う必要があるか、ご教示ください。	・事業の概要は各大学に説明済みです。 ・受託者決定後に県と受託者共同で各大学と協議を行うことを想定しており、企画提案書提出までの間に、事前連絡や調整は必要ございません。
4	仕様書 4 業務委託内容全般	より実効性の高い企画および広報計画を提案するための参考として、もし過去（昨年度等）に本事業と同様の事業を実施されている場合、その際の実績をご教示いただくことは可能でしょうか。可能な範囲で、各セミナーや交流イベントにおける「学生の実際の参加人数」「企業の応募数・参加数」、および「当時実施した中で効果的だった広報手段（例：大学への直接案内、SNS告知、WEB広告など）」についてお知らせいただけますと幸いです。	本事業は、今年度初めて実施するものであり、過去の実績等はありません。
5	仕様書 4(1) 及び (2)	就職セミナーおよび交流イベントの開催にあたり、1回あたりの具体的な所要時間の要件（例：最低〇時間以上など）や、開始時間に関する指定はございますでしょうか。それとも、学生や企業が最も参加しやすい時間帯や長さを、当方で自由に設定して提案する形でよろしいでしょうか。	所要時間、開始時間について指定はございません。

6	仕様書 4(1)①(オ)等	仕様書では実施方法として『対面を想定』とされていますが、追加提案として、より多くの学生が参加しやすいよう、オンライン配信を併用するハイブリッド形式等を含めた提案を行うことは可能でしょうか。	対面式で30名程度の参加者を想定しています。 その上で、事業効果を高めるため、追加でハイブリッド形式の提案も可能です。
7	仕様書 4(1)④	仕様書4(1)④において『講師の謝金については、1時間当たり3万円以内とすること』とありますが、この3万円には講師の交通費や宿泊費、源泉所得税等は含まれるという認識でよろしいでしょうか。それとも、謝金3万円とは別に交通費等を積算してもよろしいでしょうか。	源泉所得税等は講師謝金に含まれるものとします。 交通費、宿泊費は旅費として、契約上限額の範囲内で積算してください。
8	仕様書 4(1)⑤(ア)等	仕様書4(1)⑤等に『大学等とも連携し、学生に対する周知・広報活動を実施すること』とありますが、各大学へのチラシ配布や学内掲示等の依頼についても、受託者が独自に各大学と関係を構築し交渉する前提でよろしいでしょうか。	受託者決定後、県と受託者共同で各大学と協議を行うことを想定しています。 協議後は、受託者と大学でやり取りを行っていただくこととなります。
9	仕様書 4(2)①b(イ)	仕様書4(2)①b(イ)において『鹿児島大学、鹿児島国際大学、志学館大学を想定』とありますが、各大学での開催にあたっての役割分担についてお伺いします。記載されている3大学については、県から大学を指定していただき、開催に係る準備は受託者にて行う認識で問題ございませんでしょうか。(またその際、各大学の担当窓口等については、県から情報提供いただけるのでしょうか。)	受託者決定後、県と受託者共同で各大学と協議を行うことを想定しています。 協議後は、受託者と大学でやり取りを行っていただくこととなります。
10	仕様書 4(2)①b(エ)	仕様書4(2)①bにおいてイベント会場として『県内大学構内』が想定されておりますが、各大学への会場確保の交渉や手配は、基本的に受託者が直接大学へアプローチし完結させる想定でよろしいでしょうか。それとも、県を通じて協力依頼を行う等の所定のスキームが存在するのでしょうか。	受託者決定後に県と受託者共同で各大学と協議を行うことを想定しています。 協議後は受託者と大学でやり取りを行うことを想定しています。

11	仕様書 4(2)②(イ)	仕様書4(2)②イにおいて、募集企業数が「aについては5～10社程度、bについては3～5社程度」とありますが、a（県内全大学生対象）とb（各大学対象）の両方の交流イベントに重複して参加する企業があっても問題ないという認識でよろしいでしょうか。それとも、それぞれのイベントで異なる企業を募集・選定する必要がありますでしょうか。	重複して参加する企業があっても差支えありませんが、4（2）②ウに記載のとおり、参加企業の決定については、県と協議することとなります。
12	仕様書 4(2)②(ウ)	仕様書4(2)②ウにおいて参加企業の決定にあたり県と協議することとありますが、参加企業の開拓・募集活動自体は、基本的に受託者が独自の手法で行う想定でよろしいでしょうか。あるいは、県として過去に本事業に参加した企業のリスト等があり、それらをベースにアプローチを行う形などを想定されておりますでしょうか。	企業の募集については、受託者で行っていただくことを想定していますが、予め、県の意向をお伝えしたいと考えています。
13	募集要領 5(1)エ <留意事項>	募集要領5(1)エの<留意事項>において『食糧費は茶菓、飲料の提供も含めて委託料の積算に含めることはできない』とありますが、本業務において茶菓や飲料の提供は必須ではないという認識でよろしいでしょうか。また、座談会形式のイベント等を円滑に進める目的で、受託者の自主財源（持ち出し）や参加企業の負担等によって飲料等を提供すること自体は問題ないという認識でよろしいでしょうか。	本業務において、茶菓や飲食の提供は必須ではございません。一方で、受託者の自主財源や参加企業の負担等による飲料等の提供を妨げるものではございません。受託者決定後に協議の上、進めたいと考えています。